

こまっ子

中巨摩総合体育大会を終えて

3年生にとって中学校時代の部活動の集大成となる中巨摩総合体育大会が、14日・16日（陸上競技は23日）で開催されました。夏休み中の県大会に進んだ部も、この大会が最後となった部も、3年生を中心に思いをぶつけていたと思います。勝ち負けによる悔いは残っているかもしれませんが、自分が好きで取り組んできたことですから、最後までやり切ったという爽やかさは誰もが感じているのではないのでしょうか。

部活動の良さは、やはりその競技などを好きな者どうしが集まって活動できること。苦しいことも乗り越えやすいでしょう。一生の仲間づくりができることもよくあります。

この大会が最後になった3年生の皆さんは、これからも好きなものに打ち込んでいく気持ちや機会（それが自分の仕事や職業ではないかもしれんが）を大切にしてほしいと思います。

県大会の切符を獲得した皆さんや、これからが本番の文化部などの皆さんは、是非、最後まで同じものを愛する仲間と共に、自分を磨いていってください。



6/17 プール清掃の風景です

◆ 関連情報 ◆

「部活動が学校から地域に移行される」という話題を耳にすることが多くなってきました。国の有識者会議で方向性が示され、あと3年の内には、土曜日と日曜日の部活動から、地域の指導者などに委ねられていくようになるそうです。期待も課題もありますが、誰もが、好きな活動、やりたい活動ができる環境が整えられるよう願うとともに、できる努力をしていきたいと思います。

示された方向性の詳細は、こちらから（文部科学省HP）。

https://www.mext.go.jp/sports/b_menu/shingi/001_index/toushin/1420653_0005.htm

インターネットとのお付き合いは・・・

山梨県教育委員会が実施している「やまなし少年海洋道中」※という事業があります。中学生が仲間と共に、八丈島で9日間を過ごす体験活動です。テントで寝泊まりし、食事もほとんど野外炊飯です。電気がないので、携帯電話もテレビも使えません。

皆さんは、今、インターネット経由で情報を得たり、ゲームをしたり、友達とやりとりしたりすることが多いと思います。しかし、のめり込んでしまって、自分をコントロールできなくなっ

ていませんか？

八丈島に行った中学生たちも、普段はインターネットにどっぷりつかっていることが多かったそうですが、参加した9日間は、全くインターネットから切り離された生活をしましたので、参加する前の自分の生活を反省するきっかけになったと言っています。



インターネットとのお付き合いは、今やどうしても必要なことです。しかし、やるべきではないと自分で分かっているときでも、やらずにはいられなくなるようであれば、これは依存症です。「やるべきでないときにはやらない」という強い気持ちを持ち、それができているか、第三者的な目で自分を見つめなおしてください。※※

※「やまなし少年海洋道中」

毎年、参加者を募集しています。本校からも参加しています。海での素潜り、釣り、登山、島内一周踏破、現地の子どもたちとの交流などが行われています。

※※ 県の健康増進課では、デジタル機器利用方法の改善をめざす中学生向けのキャンプを実施しています。興味のある人は「合同会社森の学び舎」で検索してください。

今、いろいろな植物が見られますよ

いよいよ夏が近づいてきて、学校の敷地内にはいろいろな植物が元気に育っている姿が見られます。その中には、「雑草」と呼ばれて、教頭先生の手を煩わせている植物もあるのですが、環境美化委員会が植えてくれたマリーゴールドやヒマワリ、授業などで皆さんが植えたジャガイモやナスなども元気に成長していますよ。見た覚えがありませんか？



次の3つの写真は、学校内にある植物です。何でしょうか？



ヒント

- ◇ 当然、全部夏野菜です。
- ◇ 左は漬物にしてもおいしい。
- ◇ 真ん中は小学校でも育てた？
- ◇ 右は難問。嫌いな人が結構いるかも。

初めて経験しました！

先月、1年生が校庭にハチの巣があるというので、安全のため撤去に向かいました。巣（アシナガバチ）には親バチがおらず、かわいそうでしたが、取ってしまいました。巣の中には幼虫が10匹くらい見えました（写真上）。ひとつの穴は、すでにさなぎになっていました。

蜂の子は炒めて食べるとおいしいのですが、かわいそうなので、試しに餌を与えてみることにしました。アシナガバチは、昆虫を団子にして子に与えると本で読んだ気がしたので、猫が食べる「O△チュール」（中身は鶏肉）を楊枝の先で少しずつ与えてみると、なんとガツガツ食べるではないですか！！

そのまま、約3週間、餌を与えながら観察を続けると、幼虫は次々とさなぎになり、成虫も現れました（写真下）！！

蜂を育てたのは、初めての経験でした。蜂に親と間違えられたらどうしよう・・・なんて心配はいらぬですか・・・

